

令和5年度 第1回下関医療センター地域医療支援病院運営協議会
(JCHO地域協議会) 議事概要

下関医療センター地域医療支援病院運営協議会 (JCHO地域協議会) については、通常開催とし、欠席者には資料を送付し意見を賜った。

○ 発送文書 令和5年12月1日 (金)

○ 各外部委員

飴山 晶	一般社団法人下関市医師会会長 (欠席)
渡邊 利絵	下関市立下関保健所所長
芳川 修栄	一般社団法人下関市歯科医師会副会長
浜田 幹生	一般社団法人下関市薬剤師会副会長
島田 達生	下関市消防局局长 (欠席)
櫛田 宏治	東亜大学学長
波佐間 清	下関市社会福祉協議会会長 (欠席)
上村 和治	上新地自治連合会、上新地町二丁目自治会会長
義原 洋志	伊崎自治連合会、伊崎二町自治会会長

○ 添付資料

資料1 下関医療センターの概要
資料2 患者の動向
資料3 紹介・逆紹介の件数の推移
資料4 奇兵隊ネット利用状況
資料5 患者相談件数及び相談支援内容
資料6 断診率の推移
別紙 You Tube チャンネル紹介
公式 LINE 案内
いきいき健康教室案内

○ 議事概要

(1) 地域医療支援病院としての業務遂行状況について

- 全体を通して、患者数等の減少が目につきます。人口減、コロナ等の原因はあるかと思えます。

(2) You Tube チャンネルやいきいき健康教室その他取り組みについて

- You Tube チャンネルの活用が気軽に見れる講座となり、ありがたいです。これからは PR 等をしてアピールしてほしい。

(3) 外部委員からの意見・質問

- 医薬品の不足が問題となっている。下関医療センターはグループ病院間で薬の共有はしているのか。(浜田様)

→共有はせずに、各病院で独立して行っている。所々不足はあるが、ジェネリック医薬品を駆使して対応している。(山下)

● 行政の公的支援は病院とスムーズに連携ができていますか。(渡邊様)

→社会的に様々な問題を抱えている患者さんが多い中、地域医療連携部のソーシャルワーカーを中心に、行政と対応している。個々の事情により一事例に多くの時間がかかる状況はあるが、行政に相談・調整しながら対応している。(古賀)

→転院・退院ができない患者さんの要因として、介護認定を受けていない方がいる。その認定手続きに時間がかかることがあり、急性期病院としてスムーズな退院・転院ができない。また下関市は貧困世帯が増えてきた。生活保護を受けていない方の退院調整に時間がかかる。(山下)

● 処方箋の一般名処方に協力いただき助かっている。電子処方箋については下関市内の薬局で受け入れ態勢を整えている状況である。病院としてはいつ電子処方箋に切り替えるなどの計画はあるか。(浜田様)

→電子処方箋化に向けてグループ全体で取り組んでいる。グループの中で電子カルテシステム会社がバラバラなので、調整に時間を要している。医師資格証(HPKIカード)の登録はすべて完了している。(山脇)

● 公式 You Tube チャンネルを市民向けの情報発信ツールとして開始した。その中で病院再編についても取り上げている。病院再編について、パブリックコメントで意見を吸い上げたが市民の声が上がってこない。計画が市民の皆様伝わっているか不安を感じる。この計画について感想や意見を聞きたい。(山下)

→病院が3つになる話は聞いたが、時期や経営はどこが行うか具体的な内容がわからない。救急搬送(受入病院の選定)に時間がかかっている現状で3病院にして大丈夫なのか。その声をどこにあげればいいのかわからない。You Tube に関しては広めるための SNS 等を使ったアピールはしているのか。(義原様)

→新聞社やテレビ局を招いて記者会見を行ったが、再生回数は伸びていない。(山下)

→その他インスタグラムなどの SNS を活用してほしい。また高齢者が You Tube をみる機会がないので、出前講座を実施してその際に You Tube の友達登録してもらってはどうか。(義原様)

→病院統合については話し合い中で合意に至っていないため、発表できない。現在はなぜ再編統合が必要かについて You Tube を通じて解説を行っている。You Tube 以外の方法も検討していく。(山下)

● 高齢者向けにわかりやすいチラシなどは配れないか。

→チラシでは1枚に収まりきらない可能性が高い。何回かに分けて発信を検討する。(山下)

→おそらくチラシを配布しても見ない高齢者もいる。出前講座を行い、その場で登録し見てもらうことが1番良い。母親が86歳だが You Tube で料理のレシピやニュースを見ながら食事の支度をしている。You Tube は関連動画が出てくるので、「対面で」登録してもらうことが重要である。高齢者は公民館に行くのも難しい。伊崎は地元のデイサービスとタイアップして、いろいろなイベントをデイサービスの施設内でさせてもらっている。そうすると施設はバリアフリーで、トイレも行きやすく使いやすい。(義原様)

→高齢者には様々なやり方を組み合わせて周知することが必要である。(山下)

- 新病院に対する期待は必ずある。発表できない情報があることはわかっているが具体的な話が聞こえない。それぞれの病院に通っている患者さんがメリットを感じなければいけない。メディアにももっと取り上げてもらう必要があるのではないか。(櫛田様)

→新病院ができて市民にメリットを感じてもらうために、 $1 + 1 = 2$ ではなく今までなかったものが加わることに期待されていると思うので、その期待を実現したい。具体的な計画を発表できれば、注目が集まると思うが現在は下準備段階なので、話せる内容をしっかり発信していく。(山下)

- 私事ですが、先月狭心症の発作がでて、ニトロスプレーを使っても回復しなかった。救急車を呼んですぐに来てくれたが、受け入れ病院が決まらず、搬送されなかった。待機している間に、落ち着いて治り搬送されなくてよい状況となった体験をした。

→年々そういった事例が増えている。4つの病院に潤沢に医師がいない、診療科がそろっていないなどの事情がある。病院数が多いので探す時間がかかるが、1つであればそこに行くしかなくなる。引き続き様々な手段を使って解説していく。(山下)

(4) 連絡事項

- 今年度より、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、院内での市民参加型健康教室を再開した。現在4回開催しており、毎回20名ほどご参加をいただいている。次回5回目は12月7日(木) 本館7階研修室にて13:00より開催する。